

社会福祉法人つるたの里の沿革及び概要

昭和	63(1988)年	10月	宇都宮市鶴田町に所有の貸家で「ビバンタ鶴田福祉作業所」として入所者1名で開始する。
平成	2(1990)年	4月	有志の方々により後援会発足（設立総会は同年11月）。
平成	2(1990)年	9月	障がい者のための地域生活ホーム「ビバンタホーム」発足(定員6名)。
平成	2(1990)年	10月	初代後援会会長故及川日出男氏の呼びかけにより、社会福祉法人設立準備会発足。
平成	4(1992)年	4月	ビバンタ鶴田福祉作業所(Ⅱ型定員19名)の認可を受ける。
平成	5(1993)年	4月	準備会改め第1回社会福祉法人「徳武福祉会」設立発起人会開催。
平成	5(1993)年	12月	地域生活ホーム「ビバンタホーム」(女子)宇都宮市から委託を受ける。
平成	6(1994)年	12月	第4回社会福祉法人設立発起人会で「徳武福祉会」から「つるたの里」と改める。
平成	7(1995)年	3月	栃木県知事より社会福祉法人「つるたの里」法人認可を受ける。理事長徳武すゞ子。
平成	7(1995)年	4月	財団法人日本船舶振興会より建設補助金交付決定を受ける。
平成	7(1995)年	7月	地域生活ホーム「ビバンタホーム」の法人運営を決定。
平成	7(1995)年	8月	共同募金会より配分金交付決定。
平成	7(1995)年	8月	ビバンタ鶴田作業所建設工事着工。
平成	8(1996)年	2月	ビバンタ鶴田作業所建設工事竣工。
平成	8(1996)年	3月	宇都宮市より建設補助金交付決定を受ける。
平成	8(1996)年	4月	栃木県知事より知的障がい者通所授産施設(定員30名)の認可を受ける。
平成	8(1996)年	4月	ビバンタ鶴田作業所開所(栃木県初の相互利用実施)。
平成	8(1996)年	5月	ビバンタ鶴田作業所落成式。
平成	9(1997)年	5月	郵政省お年玉付き郵便葉書等寄付金配分による移送用車両購入。
平成	10(1998)年	4月	栃木県共同募金会寄付金により外構(フェンス)設置。
平成	10(1998)年	9月	第2駐車場の土地を購入。
平成	10(1998)年	12月	宇都宮市の委託により雀宮中央小学校内に在宅重度心身障がい者デイケア事業開始。
平成	11(1999)年	4月	在宅重度心身障がい者支援施設機能活用事業(レスパイト)を開始。
平成	12(2000)年	4月	地域独居老人ふれあい給食サービスを開始(休止中)。
平成	12(2000)年	8月	知的障がい者地域生活支援事業(グループホーム)の指定を受ける。
平成	17(2005)年	2月	国庫補助金により移送用車両(ハイエース)購入。
平成	18(2006)年	1月	グループホーム(男子)つるた荘新築。
平成	18(2006)年	10月	第2つるた荘(民間からの貸借)設置。
平成	19(2007)年	5月	障がい児日中一時支援(放課後型)事業開始(雀宮中央小学校内:コレゴすずめ)
平成	19(2007)年	7月	障がい児日中一時支援(放課後型)事業開始(子ども発達センター内:コレゴつるた)
平成	23(2011)年	4月	多機能型(生活介護・就労継続支援B型)へ移行、社会就労センタービバンタ鶴田となる。
平成	24(2012)年	3月	中央競馬馬主会福祉財団助成金により移送用車両(ハイエース)購入。
平成	26(2014)年	6月	ホンダ販売労働組合ホンダカーズ栃木支部より移送用車両(ステップワゴン)寄贈。
平成	26(2014)年	9月	駐車場及びグループホーム用地を購入。
平成	26(2014)年	11月	日本財団助成金によりビバンタ鶴田修繕工事完了。

平成 27(2015)年	5月	赤い羽根共同募金配分金を受けて食堂エアコンを更新
平成 29(2017)年	4月	国庫及び宇都宮市補助金を受けてビバンタホームに防犯カメラ 2 台設置
平成 30(2018)年	2月	ホームページ作成、公開 http:// tsurutanosato.com/
平成 30(2018)年	5月	赤い羽根共同募金配分金を受けて送迎用車両（ハイエースワゴン）を購入
令和 4(2022)年	3月	日中一時支援（放課後型）事業「コレゴすすめ」「コレゴつるた」の事業廃止
令和 7(2025)年	5月	重度心身障害者デイケア「デイケアすすめ」事業廃止、利用者は生活介護へ合流